



市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第4号

2012年7月発行

医療に関する相談窓口のご紹介



当院では、患者様・ご家族様からの様々なご相談やお問い合わせに対して、幅広く対応できる体制をとっております。

まずは、ロビー受付カウンター 番

「医療相談窓口」へお越しください。

(予約が必要な場合もありますが、お気軽にお立ち寄りください。)

看護師、認定看護師、薬剤師
管理栄養士、医療ソーシャルワーカー
医療事務 他

院内の専門職員が専門性を
活かして対応いたします



医療相談

医療相談窓口は、当院に関する相談や質問などの窓口となります。

療養に際し、治療上のご相談や各種保険・経済的・社会的にお困りのご相談について担当がお伺いし、問題を共に考え解決できるよう色々なお手伝いをさせていただきます。

医療福祉相談

経済問題や、介護保険・社会福祉制度などの福祉サービスを利用したい時、また入院生活やご自宅での療養上の不安、退院後の社会復帰など、病気になったことで生じる生活上のご相談をお受けします。

がん相談

通院中の患者様やご家族の病気や治療に伴う不安や悩みなどについて、認定看護師がご相談をお受けします(一部予約が必要になります)

看護相談

入院、通院の患者様・ご家族の不安、疑問や悩みなどの相談を看護師がお受けしています。

受診相談

病状について、どの診療科を受けたら良いかわからない時、看護師が問診をしながらお手伝いさせていただきます。

お薬相談

お薬に関することについてのご相談を薬剤師がお受けしています。

栄養相談

糖尿病・腎臓病をはじめ肝臓病や代謝異常など、慢性疾患を中心に管理栄養士が個別相談を行っています。(予約が必要になります)

患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

消化器外科

今年の7月1日から、市立池田病院の外科は消化器外科と外科の二つの標榜科にわかれます。

消化器外科のスタッフは柴田理事・福崎主任部長・平尾部長・森本副部長・足立医長・岡野医長・元木医員の総勢7人から構成され、外科は小林院長・松田主任部長・安座間副部長の3人から構成されています。また後期研修医の田中医師と小森医師が研修に励みます。

消化器外科は食道、胃、腸、肝、胆、膵などの消化器疾患に対する外科治療を中心に行うことで、より専門性をめざし、レベルアップを図ります。最近では患者さんのQOL向上を目指して胃癌、大腸癌、肝臓癌に対する腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。

外科は主に乳腺甲状腺などの内分泌疾患を取り扱うこととなります。急性虫垂炎や急性腹膜炎などの急性疾患にも今まで以上に力を入れていく所存です。消化器外科で診察する主な疾患と担当医は以下の通りです。

担当疾患	食道・胃疾患	腸疾患	肝・胆・膵・脾	急性疾患	ヘルニア
担当医	平尾・足立	福崎・岡野	柴田・森本	全員	福崎・安座間
主な疾患	食道癌 胃癌 胃悪性リンパ腫 胃GIST その他の胃粘膜下腫瘍 難治性胃・十二指腸潰瘍など	大腸癌（結腸、直腸、肛門の癌） 肛門疾患（痔核、痔瘻、裂孔） 直腸脱など	肝細胞癌 転移性肝癌 膵癌 胆管癌 脾腫 胆嚢癌 胆石 胆嚢ポリープなど	急性腸炎 急性胆嚢炎 腸閉塞 胃・十二指腸潰瘍による穿孔性腹膜炎 大腸穿孔など	そけいヘルニア（いわゆる脱腸） 腹壁癒痕ヘルニア



診察室	月	火	水	木	金	
1診	午前	松田 (乳腺)	松田 (乳腺)	平尾 (消化器外科)	柴田 (消化器外科)	福崎 (消化器外科)
	午後					
2診	午前	安座間 (乳腺)	安座間 (乳腺)	足立 (消化器外科)	平尾 (消化器外科)	森本 (消化器外科)
	午後					
3診	午前	交代制	交代制	交代制	元木(消化器外科)	柴田(消化器外科)
	午後	ヘルニア外来 (消外・福崎)				腹腔鏡外来(柴田)
4診	午前				福崎(消化器外科)	岡野(消化器外科)
6診	午前	小林(甲状腺)	小林(乳腺)	乳腺外来 (1・3・5週)		

当院は診療所との連携を進めています。初診の患者様は、一度かかりつけ医にご相談下さい。また、かかりつけ医からの紹介がない初診患者様についての受付は午前11時までとなります。

医療技術部 リハビリテーション科

当院では外来患者さま、入院患者さまを対象に、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）が専門的にリハビリテーションを行っています。



リハビリテーションとは

リハビリテーション（rehabilitation）とは、本来はラテン語で「re-(再び)、habilis(人間にふさわしい)」の状態にするという意味です。単に手足の機能回復などの部分的意味にとどまるものではなく、人間全体としての「人間らしく生きる権利の回復」「全人間的復権」を意味するものです。

リハビリと聞くと、骨折や人工関節の手術後や、脳卒中（脳梗塞、脳出血）に対するリハビリをイメージする方が多いかもしれませんが、当院では呼吸器疾患の患者さまに対してのリハビリテーションも行っています。今回は呼吸リハビリテーションについての紹介を行いたいと思います。

呼吸リハビリテーション

呼吸器疾患を対象に行うリハビリテーションのことで、対象となる病気としては、肺気腫、慢性気管支炎のような慢性閉塞性肺疾患（COPD）、肺炎、肺がん、神経や筋肉の病気による呼吸機能の低下、人工呼吸器をつけた状態、手術後で痰を出しにくい状態の人に行うリハビリテーションです。



何の目的でどんなことを行うの？

対象となる病気の状態や時期によっても異なりますが、主に、呼吸機能や持久力、筋力を改善させることで、日常生活動作（歩行、排泄、入浴）を楽に行えるよう呼吸リハビリを行います。内容としては、呼吸法の指導、排痰介助、呼吸介助、筋力増強練習、日常生活動作練習などを行います。

慢性閉塞性肺疾患や肺炎、肺がんなど、呼吸器疾患に罹患される方は今後ますます増加していくとされています。そのため、呼吸器疾患に対するリハビリテーションの重要性も、今後さらに高まっていくと考えられています。



～ひまわりサロンのご案内～



ひまわりサロンって何??



ひまわりサロンは、内服抗がん剤(ゼローダ[®]、ティーエスワン[®]など)で治療中の患者様、またはご家族の方をサポートするためのサロンです。

今年6月からひまわりサロン開催曜日が、
木曜日から水曜日へ変更になりました。

開催日時：毎月 第2・4 水曜日 14時～15時

会終了後、15時～16時 1人30分程度で個別相談(要予約)

場所：東館2階 会議室3

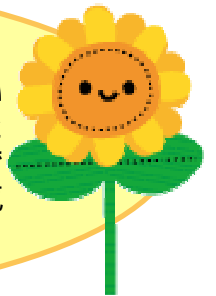
この件に関しては、入院説明窓口にお問い合わせ下さい。

がん化学療法看護認定看護師と一緒に、治療による副作用についての学習、患者様やご家族同士で情報交換や話し合いの場です。「お薬に関する副作用やその予防方法について知りたい」「初めての治療で不安」「パンフレットを読んだだけではよくわからない」「誰に聞いたらいいのかわからない」など困っていませんか?一人で悩まずに、ぜひ「ひまわりサロン」にご参加下さい。



がん化学療法看護認定看護師
豊島かおり

今年4月から外来化学療法センターで勤務しています。治療の選択や、がん治療の副作用による辛い症状、療養生活などに関する悩みや困っていることなどがあれば、個別相談にも応じています。少しでも皆様のお役に立てたらと思っていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



夏の食材!!



かぼちゃ



栄養管理科では、かぼちゃを赤ちゃんから高齢者の方の食事の材料として、幅広く使用しています。

離乳食、嚥下トレーニング食では、ポタージュ・ゼリーに調理し、その他の治療食では、煮物、あんかけ、天ぷらなどに調理しています。

栄養と働き

緑黄色野菜であるかぼちゃはカロテン、ビタミンC・Eが含まれています。カロテンは肌や粘膜を丈夫にし、感染症に対する抵抗力をつけます。ビタミンEは強力な抗酸化作用があり、活性酸素の害から体を守って、老化防止や動脈硬化の予防が期待できます。ビタミンCはでんぷんに守られているので壊れにくいです。

おいしい“かぼちゃ”の選び方

緑色が濃く、縞模様のはっきりして、ずっしりと重いものを選びましょう。切り売りの物は切り口の果肉の色が鮮やかで濃く、肉厚のものを選びましょう。

保存方法

丸ごとであれば、風通しの良い涼しい所で長期保存できます。切り分ける場合は種とワタを取り除いてからラップをして、冷蔵庫に保存しましょう。

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、ご意見ご感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会